

「学術フロンティア研究成果交流集会」

# 日本における福祉政策評価の現状と今後のあり方

## - 学術フロンティア研究の到達とこれからの方向 -

学術フロンティアは、平成14年度に採択を受け、「地域ケアの政策・臨床評価とその活用システム構築に関する研究」をテーマとして5年間の研究を推進してきました。競争的研究資金としての研究評価を受けつつ、さらに福祉政策現場で必要とされる評価ツールの開発と流通、分権型地域福祉における臨床データをもとにした効果評価、さらに創造的ケアマネジメントの普及といった内容での、社会への発信を多々なし得て来ました。

研究推進者及び共同研究者が、これらの研究成果を確認するとともに、学術フロンティア研究全体の成果状況を確認する場として「研究成果交流会」を開催します。今後継続申請を予定しているポストフロンティアの研究構想の確認の場ともしたいと思います。

広く学内関係者にも参加を呼びかけます。是非ご参加ください。

### 報告 :

< 1 > 学術フロンティア研究5年間の研究成果内容 (30分)

研究代表者 平野 隆之

< 2 > 研究員による各領域別成果報告 (各20分)

1 : 地域ケアチーム

2 : 臨床評価チーム

3 : ケアマネジメントチーム

質疑・討論(20分)

< 休憩10分 >

シンポジウム : ポストフロンティア構想の内容について (60分)

シンポジスト 地域ケア領域 平野 隆之教授

臨床評価領域 近藤 克則教授

ケアマネジメント領域 野中 猛教授

日時：2007年1月23日(火) 18:00～21:00

場所：名古屋キャンパス北館7階 7B

主催：地域ケア研究推進センター

学術フロンティア事業で推進している各研究領域での取り組みについても下記のように、企画が予定されています。フロンティア研究事業成果の一環としてお知らせいたします。

< 地域ケアチーム関連 >

第2回地域で育む地域密着型サービス推進セミナー

「認知症高齢者を支える地域ケアシステムの構築と自治体の役割  
- 小規模多機能ケアの普及と質の確保 - 」

地方分権の新たなステップの地域密着型サービスのあり方を問う自治体職員との共同研究の場として開催します。

日時 : 2007年1月22日(月) 10時30分~17時00分

場所 : 名古屋キャンパス北館 8階

[企画内容] 基調報告と3つのシンポジウム

基調報告 : 「認知症地域ケアの推進と自治体の役割」 平野隆之教授

シンポジウム1 : 「認知症の早期発見と地域で支えるシステムづくり」

シンポジウム2 : 「地域に密着した小規模多機能ケアの支え方・育て方」

シンポジウム3 : 「地域密着型サービスの質の確保と自治体の役割」

< ケアマネジメントチーム >

第10回終末期ケアに関する公開研究会

「高齢者の終末期ケア  
- 療養通所介護・グループホームにおける新たな取り組み - 」

これまで終末期ケア研究会では9回にわたる公開事例検討会を通して、質の高い看取りの実現に向けケアマネジメントの観点から検討・研究を行ってきました。今回は療養通所介護とグループホームに焦点をあてて実施します。

日時 : 2007年2月10日(土)

13:30~16:30

場所 : 日本福祉大学中央福祉専門学校

ファシリテーター :

野中 猛教授

< 臨床評価チーム >

国際シンポジウム

「検証『健康格差社会』  
- 介護予防に向けた社会疫学研究の可能性 - 」

アメリカ・ハーバード大学公衆衛生大学院から、社会疫学の第一人者 Kawachi 教授をお迎えして、健康を規定する社会的因子を解明する社会疫学と、その日本での介護予防への応用可能性についてフロンティア研究成果を踏まえて議論します。

日時 : 2007年3月18日(日)

10:00~16:30

場所 : 名古屋国際会議場

特別講演 : Kawachi, Ichiro 教授

研究報告 : 愛知老年学的評価研究  
の内容報告

シンポジウム : 日本における健康格差社会の実態